

学校・家庭・地域の 連携・協働研修会

本研修会は、「学校を核とした地域づくり」と「地域とともにある学校づくり」において、地域の体制づくりの整備や学校運営協議会の在り方の理解を深めていただくことを目的として実施しました。管内の学校関係者や行政職員、地域学校協働活動推進員等64名の参加者が一緒に学びを深めました。

研修1 <実践発表>

「すべては子どもたちのために」

川崎町立真崎小学校 地域学校協働活動推進員 中村 千恵 氏

中村氏による実践発表では、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進のための地域学校協働活動推進員（以下：推進員）の取組について発表していただきました。

実践の中で、地域全体を巻き込んだ地域学校協働活動の体制づくりとして、人材確保のために町の広報誌にボランティア募集記事を掲載したことやサポーターが容易に活動へ参画できるように、地域住民が協力できる活動内容について表にまとめ整理したこと等を示していただいたことで、推進員の取組の具体について理解することができました。

また、中村氏の地域の活性化に対する思いについて、多くの方が共感し、今後の取組に向けた意欲を高めることができました。



研修2 <講話・演習>

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な実施に向けて」

下関市立大学 教養教職機構 准教授 天野 かおり 氏

天野先生による講話では、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な実施に向け、法的根拠に基づいた学校運営協議会の在り方や地域学校協働本部の整備について御教示いただきました。

講話の中で、学校運営協議会を通じて関係者が同じ目的を共有し、当事者意識をもって地域学校協働活動を展開すること、市町村教育委員会が地域学校協働本部を整備し、学校運営協議会と両輪になるように取組を進めることを学ぶことができました。

また質疑応答の中で、地域学校協働活動推進員の必要性や地域と学校の目標共有の方法について回答いただき、今後の活動において具体的な方策を考えることができました。



研修を終えて

研修後のアンケートには、「今回の研修内容を幅広く周知し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を推進する環境を作っていくたい。」「今後学校と地域が一体となって地域学校協働活動を進めていくために、まず学校と地域が目標を共有していくことが大切である。」等の感想が多くありました。

本研修会を通して、「学校を核とした地域づくり」と「地域とともにある学校づくり」において、地域の体制づくりの整備や学校運営協議会の在り方の理解を深めるとともに、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な実施に向けての知識・理解を深め、参加者の実践意欲を高めることができました。今後、より一層コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的な実施が進んでいくようお願いいたします。

